

おもしろ科学館2024 inほろのべ

「科学の不思議とおもしろさ」を楽しく体験しながら科学技術やエネルギーの重要性を学ぶことができる場を提供し、身近な科学やエネルギーへの理解を促すことを目的として開催します。

開催日 令和6年7月20日(土)・21日(日)

会場 第1会場 総合体育館
第2会場 ゆめ地創館

第51回 ほろのべ名林公園まつり

豪華ゲストによるステージショーや盆踊り大会・仮装盆踊り大会など盛り沢山の内容で賑わいをみせる町の一大イベントです。

開催日 令和6年8月10日(土)・11日(日)

会場 山村広場

クールビズのお知らせ

令和6年6月1日～9月30日

☆役場では、6月1日から9月30日まで夏の軽装(クールビズ)を実施します。

☆職員は軽装(ノー上着・ノーネクタイ、ポロシャツなど)で業務を行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

☆会議などで役場へお越しの際は、ノー上着・ノーネクタイ、ポロシャツなどの軽装でお越しください。



ほろのべの裏窓

■みなさんこんにちは。今月号は裏窓から失礼します。6月に入り、季節は春から夏へとバトンタッチです。6月21日には、1年でもっとも日が出ている時間が長いと言われている「夏至」を迎えます。夏至は「夏に至る」という言葉のとおり、本格的な夏の始まりを意味します。

■ところでみなさん、冬至といえば「かぼちゃ(南瓜)」を食べる風習がある一方、夏至の日にはこれを食べようといった風習、あまりイメージないですね。風習がない一説として、夏至の時期が田植えなどの農作業の繁忙期と重なっており、夏至独自の風習が生まれづらかったと言われています。

■もし、夏至の日には何かを食べるといふ風習があったとしたら、個人的には、かぼちゃと同じウリ科の「スイカ(西瓜)」はどうかな? と思ってしまいます(笑)。みなさんはどんな食べ物を思い浮かべますか? ぜひ教えてください。それではまた来月号でお会いしましょう!

菩提寺の反りし大屋根冴返る
最終の尾灯を送り冴返る
冴返る雛が小枝で巢立ち待つ
目覚めよき顔がひりりと冴返る

横山 貞雄
小玉 利治
富樫とも子
田中 徹男

四月定例俳句会作品 幌延ほおずき俳句会



まちのうごき

令和6年4月末日現在 ※()内は前月比

人口

男	1,071	(0)
女	999	(0)
合計	2,070	(0)

世帯数 1,196 世帯(9)

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

総務企画課 企画振興係

電話 5-1114 / 告知端末機 5-8814



広報ほろのべの窓 6月号

令和6年 6月
発行 / 幌延町

■企画・編集 / 総務企画課 企画振興係 ■印刷 / 株式会社須田製版

■幌延町ホームページアドレス / <https://www.town.horonobe.lg.jp>

UD FONT この広報誌は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

●この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。